

## 保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)

## 【児童発達支援】

公表:令和3年2月15日

事業所名:児童デイサービスセンターおひさま

保護者等数(児童数) 22 回収数 18 割合 82%

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	16	2			<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動スペースは問題ないと思うが、親の待機場所が狭く、人數が多い時は少し大変。</li> <li>・子どもたちが元気よく活動できるよう障害物等もなくてよい。</li> </ul>	利用人数、子どもの状況に合わせたグループ編成を行うようにしています。また、新設の際に検討したいと思います。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	18				<ul style="list-style-type: none"> <li>・不安や疑問等があり相談すると適切な回答を頂ける。</li> </ul>	配置基準は10:2ですが、おひさまでは10:4で職員配置を出来るようにしています。また、各専門職の先生に月1回参加して頂いていますが、対象曜日でない場合でも参加が出来るようにしていきたいと思います。
	3 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境 <sup>i</sup> になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	11	6	1		<ul style="list-style-type: none"> <li>・バリアフリーではないと思う。</li> <li>・トイレがもう少し子どもに使いやすくなればいいかなと思います。</li> <li>・活動室はフラットだが、トイレなどに移動すると段差がある。</li> <li>・子どもたちが活動するスペースは特に問題はないが、保護者の待機する場所からもう少し子どもたちの活動が見えやすくなればいいなと思います。</li> <li>・トイレ前の段差が危ないと思う。</li> <li>・トイレは人手がないと車椅子利用などは難しい。</li> <li>・子どもたちが活動に集中できるよう壁などの装飾を考えられている。</li> </ul>	設備が不十分なところがありますが、出来る部分として心のバリアフリーを考え配慮するようにしています。また、新設の際に検討したいと思います。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	16	2			<ul style="list-style-type: none"> <li>・人数の多い時は手狭に感じる。</li> <li>・よく掃除され、食前食後も消毒して頂き、安心して子どもたちが過ごせる環境である。</li> </ul>	活動終了後に、活動室内、トイレ等の清掃、子どもたちが使用した玩具の消毒を行っていますが、今後も徹底していきたいと思います。
	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画 <sup>ii</sup> が作成されているか	18				<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの様子や親の意向を汲んだ計画を毎回作成して頂いています。</li> </ul>	個別支援計画に基づき支援を行っています。今後も活動前の打ち合わせの際に個別支援計画の確認を行なうようにしていきたいと思います。
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	17	1			<ul style="list-style-type: none"> <li>・それぞれの家庭や子どもに合わせた。</li> </ul>	懇談会等を通して周知しています。新規の契約時にも説明ができるようにしています。
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	18					面談が遅れることはありますが、その都度見直し定期的に行えるようにしています。
	8 活動プログラム <sup>iii</sup> が固定化しないよう工夫されているか	17	1			<ul style="list-style-type: none"> <li>・振り返りで先生の話を聞くと、熟考された活動プログラムなんだなあと感じる。</li> <li>・毎月よく考えられた活動内容になっており、子どもたちも楽しんで活動している。</li> </ul>	月の計画で活動内容が固定化されないようにしています。通園の活動の際の活動内容は固定化されないよう検討していきたいと思います。

	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	8	6	3	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>幼稚園へ伝え難い内容を代弁して頂いた事もありとても助かりました。</li> <li>未就園児は交流があつても良いと思う。</li> <li>まだそういった活動に参加したことがない。</li> </ul>	事業所として、交流の機会は設けていませんが、登録児全員が幼稚園・保育園・認定こども園に併行通園している状況です。
10	幼稚園・保育所・認定こども園とおひさまの連携が取れているか	18				<ul style="list-style-type: none"> <li>幼保連絡会で情報交換をして下さっている。</li> <li>よく連携がとれており、幼稚園の先生からの話も伺うことができる。</li> </ul>	年2回連絡会を行い、連携を図るようになっています。今後も連携を図り、よりよい園生活が送れるよう支援計画を立てていきたいと思います。
11	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	18					契約時に説明を行っています。
12	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	18					個別面談や日々の活動の振り返り等を通して伝えるようにしています。
13	保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニングiv等)が行われているか	10	7	1	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>プログラムとしてはないと思うが、日々の活動の中でアドバイス頂いたり、先生方が関わる方のモデルとなっている。</li> <li>私がまだまだ上手く出来ていないと感じています。</li> <li>先生方に相談すると適切なアドバイスや意見を頂ける。</li> </ul>	基本家族通園で活動し、年4回の懇談会を通して講師を招いての勉強会や年2回の療育相談の実施、活動終了後に振り返りの時間を設ける事がおひさまとしてのペアレントトレーニングと考えています。
14	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができるか	17				<p>未回答1 ・先生方に相談しやすい。</p>	活動終了後の振り返りや個別に話をする時間を設けています。
15	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	18					家族通園の為、活動の際に各家庭と話す時間を大切にしています。 面談日程は早めに調整を行えるようにしていきたいと思います。
保護者への説明等	16 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	13	1	3	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>日々の活動中に保護者間で交流し情報交換できている。</li> <li>自分でいっぱいいいっぱいでです…</li> <li>保護者会などはないため、懇談会など全グループの保護者との間りがもう少しあるとよい。</li> <li>母子通園であり、活動の中では特に保護者同士で話す機会があり情報交換の場となっています。</li> <li>保護者同士で意見交換できる場が設かれ、連携も取れているので助かる。</li> </ul>	今年度に関しては、新型コロナウイルス感染拡大防止の為、放課後等デイサービスと合同での懇談会は出来なかつたです。父母の会は設立していませんが、分離や懇談会を通して保護者同士のコミュニケーションが図れるよう心掛けています。必要に応じ職員が入る事もできるので声を掛けて頂ければと思います。
	17 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	18				<ul style="list-style-type: none"> <li>どの先生に声を掛けても先生方の間で情報が伝達されているので助かる。</li> <li>対応も早くスタッフ間の連携がよい為よい対応をして頂いている。</li> </ul>	活動前に打ち合わせ、活動終了後に振り返りの時間を設け、共通認識のもと支援が行えるようにしていきます。 よりよい支援に繋がるよう、情報提供を行い、関係機関との連携を大切にしていきたいと思います。
18	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	18					活動前に打ち合わせ、活動終了後に振り返りの時間を設け、共通認識のもと支援が行えるようにしていきます。
19	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	18				<ul style="list-style-type: none"> <li>必要に応じて適切な情報提供して頂きどちらも状況把握がしやすい。</li> </ul>	おたよりは毎月25日までにはホームページにアップできるように心掛けています。
20	個人情報の取扱いに十分注意されているか	16	1		1	<ul style="list-style-type: none"> <li>散歩に行く時に、ネームはつけたままの事がある。</li> </ul>	戸外に出る際のネーム着用については今後検討していきたいと思います。

非常時等の対応	21 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	15	2		1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・しっかり説明はされていないが、聞くと教えてもらえる。</li> <li>・避難訓練も定期的に行われ非常時の対応が分かりやすい。</li> </ul>	掲示等を通して周知しています。
	22 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	16			2		隔月、避難訓練を実施しています。訓練を実施した際は、振り返り等でもお伝え出来るようにしていきたいと思います。
満足度	23 子どもは通所を楽しみにしているか	18				<ul style="list-style-type: none"> <li>・おひさま大好きです。(弟も)</li> <li>・毎回とても楽しみにしています。上手くいかない時、私もはげませる親になります。</li> <li>・年長になってからは特に楽しみにしている。</li> <li>・毎回通所を楽しみにしている。</li> </ul>	子どもたちが「楽しい」と思えるような活動を心掛けています。
	24 事業所の支援に満足しているか	18				<ul style="list-style-type: none"> <li>・おひさまで親も子もいつも癒されています。</li> <li>・子どもの成長を感じ、感謝しています。</li> <li>・先生たちの声掛けを見て真似できたらと思います。</li> <li>・子どもの成長が楽しみながらみられるためとても満足している。</li> </ul>	今後も保護者からの意見要望を懇談会や日々の活動を通して伺い、活動に活かしていきたいと思います。

## (注釈)

i 「本人にわかりやすく構造化された環境」は、この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすることです。

ii 「児童発達支援」は、児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的な内容、支援を提供する上の留意事項などを記載する計画のことです。これは、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成します。

iii 「活動プログラム」は、事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。子どもの特性や課題等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。

iv 「ペアレント・トレーニング」は、保護者が子どもの行動を観察して子どもの特性を理解したり、特性を踏まえた褒め方等を学ぶことにより、子どもが適切な行動を獲得することを目標とします。

- この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

## 事業所における自己評価結果(公表)

## 【児童発達支援】

公表:令和3年2月15日

事業所名:児童デイサービスセンターおひさま

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		人数が多い際に、トイレが込み合うことが時折ある為、順番等工夫しています。	
	2 職員の配置数は適切であるか	○		定期的に専門職の先生に来て頂いています。	
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか		○	幼稚園・保育園・認定こども園により近い環境を提供することで、スムーズに就園に移行できるようにしています。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○		トイレの数が少ない為、込み合わないよう、順番等工夫しています。	
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○		日々の振り返りや月1回の会議を通して見直しを行っています。	
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			今後も、年1回継続してアンケートを行い、業務改善に繋げます。
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○		自己評価の実施を行い、HPにて公開しています。	
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○		
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		常に外部研修や内部研修に参加できるようにしています。専門職の先生からの意見も取り入れながら学ぶ機会を設けています。	
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○			面談が遅れることもありますが、その都度見直し、定期的に行えるようにしています。
	11 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○		SDQを活用し、アセスメントを行っています。	
	12 児童発達支援計画には、「児童発達支援ガイドライン」の「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」「家族支援」「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○		児童発達支援管理責任者を中心とした検討会議を行い作成しています。	
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○		個別支援計画を全職員が確認を行い、共通認識の元、支援ができるようにしています。	
	14 活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		素案を元に参加スタッフ全員で行っています。また、専門職の先生方にも相談し活動を考えています。	
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		季節の行事等を取り入れながら、月の計画が固定化されないようにしています。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成しているか	○			
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		ケースカンファレンスを行い、共通理解の元対応できるようにしています。	
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		活動終了後に保護者との振り返りを行い、その後スタッフ間でも振り返りを行っています。	
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		個人記録、全体記録をとっています。	
	20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○			日頃、保護者と会話の中で行っているが、定期的にできていないケースもある為、見直していくたいです。
関係機関や保護者との連携関係	21 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			
	22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○		関係機関との会議を通して、連携が図れる体制を作っています。	
	23 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか				
	24 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか				
	25 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		年2回の幼保連絡会を行い連携を図っています。必要に応じて電話でも連携を図っています。	
	26 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		移行支援シートと併せて、就学先が決定した後、連絡会を行い連携を図っています。	
	27 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		外部研修や公開療育等を通して連携を図っています。	
	28 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○		同法人の保育園の園庭を利用した活動や行事を行っています。3歳以上の子どもは全員幼稚園、認定こども園、保育園に就園しています。	
	29 (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○		理事長が子ども・子育て会議の委員、管理者が子ども部会の委員になっています。	
	30 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		基本家族通園を行っており、活動終了後保護者と振り返りを行っています。	
	31 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	○		基本家族通園で活動し、年4回の懇談会を通して講師や専門職を招いての勉強会や年2回の療育相談の実施、活動後に振り返りの時間を設けています。	今年度は新型コロナウイルス感染症対策の為、対象をしぼっての実施・内容を変更して行いました。今後も新型コロナウイルス感染症の状況を見ながら懇談会を考えていきたいと思います。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		契約時に説明を行い、書類もお渡ししています。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○		保護者が自由に見れる場所にガイドラインと評価表を掲示してあります。	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		日々の振り返りや個別支援計画を通して、話す機会を設けています。希望がありましたら、随時面談を行っています。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			父母の会は設立していませんが、分離の活動や懇談会を通して、保護者同士のコミュニケーションが図れるように心掛けています。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		ホームページ等でお知らせしています。25日までにはアップできるよう心掛けています。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○			
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○		今年度は新型コロナウイルス感染症の為、行事の際等に、地域の方の協力を得ることは難しかったです。今後も地域との交流を持ち協力等を得ながら関係性を築いていきたいです。
	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○		掲示等を通して周知しています。	
非常時等の対応	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		隔月で避難訓練を行っています。	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	○		契約時に連絡表に記載してもらい、確認をしています。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		医師の指示書の元、除去食の提供を行っています。	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		外傷記録簿や個人日誌に記載し、朝礼で伝達を行うことで再発防止に努めています。	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		必要に応じて関係機関と連携を図っています。	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○			基本、身体拘束は行っていません。

○ この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。